

# 母の願い エコトラ走る

## アトピーの娘のため、天然ガス車で運送会社

保有するトラックがすべて低公害車という、全国でもユニークな運送会社が門真市にある。「エコトラック」は14年前の創業以来、二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)排出削減に効果のある天然ガス(CNG)自動車<sup>㊦</sup>を社有車の中心に据え、事業を展開してきた。社長の池田治子さん(49)は「もっと輸送業界に天然ガストラックを普及させたい」と話す。(児島圭一)



低公害車で事業を展開する「エコトラック」社長の池田さん(左)(門真市で)

国土交通省と日本ガス協会によると、全国のトラック約1500万台のうち、大半がディーゼル車で、天然ガス車は約1万8000台。一方、同社では保有する75台のうち71台が天然ガス車で、残り4台も環境に優しいとされるハイブリッド車を使っている。

池田さんが環境問題に興味を持ったのは、1998年頃に発症した娘のアトピー性皮膚炎がきっかけ。当時、夫が営んでいた運送会社に勤めていたこともあり、周囲から「排ガスと関係があるのでは」と言われ、ディーゼル車の性能に疑問を持った。尼崎公害訴訟などで大気汚染が問題化していた頃でもあった。

そんな折、地域行事に出展されていた天然ガス車に出合った。排ガスは黒煙を出さず、臭いもなかった。池田さんは「天然ガス車だ

**㊦**天然ガス自動車 圧縮天然ガス(CNG)で走行する低公害車。日本ガス協会によると、トラックの場合、CO<sub>2</sub>排出量はディーゼル車と比べ約2割少なく、有害物質の粒子状物質(PM)や窒素酸化物(NO<sub>x</sub>)も

ほとんど排出しない。自治体やガス事業者などが導入を進めるが、天然ガスタンド数(昨年度314か所)が4年前から減少に転じたこともあり、車両数も伸び悩んでいる。昨年度は全国で4万2590台。

## 門真の池田さん、創業14年 共感広がり好調「もっと普及を」

けの会社をつくりたい」と思ったという。

ただ、欠点もあった。車両代など初期投資は3割ほど割高で、燃料費も軽油よりかさんだ。ガスを充填するスタンドも、あまり普及していない。同業者からは「環境で飯は食えない」といさめられたが、池田さんは「娘のためにもやってみよう」と99年、天然ガストラック5台での創業を果たした。

急には燃料補給ができない弱点は、綿密な運行計画を立ててカバーした。営業先で環境保全の狙いを説くと、共感の輪が徐々に広がった。「企業イメージが上がる」との声もかきはじめ、今では従業員80人の会社へ成長。売り上げも年々伸び、年商5億円に達した。

約10年前からは、全国の小学校などで子供たちに天然ガス車を見せ、解説するなど環境教育にも一役買っている。池田さんは「うちの会社は、環境と商売が両立できることを証明する事業でもあると思っています。多くの人に目を向けてもらいたい」と話している。